

科目名	からだのしくみ 1							年度	2024	
英語科目名	Body Mechanics 1							学期	前期	
学科・学年	鍼灸科 1 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	山下俊樹		教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】										
人の体の構造や形態、そのしくみや機能などを基礎から学び、基本的な体の構造を理解するとともに、鍼灸治療に必要な筋骨格系の知識を修得し、経穴取穴で必要になる体表解剖・ランドマークを中心として、筋肉の骨の名称、靱帯や血管・神経などの軟部組織を理解し覚えていく。2 年次からの各論や治療論への道筋となるべく、次のステップへスムーズに進めるための基礎知識の修得を目標とする。										
【科目の概要】										
座学を中心に前期15コマ、後期15コマで構成。各項ごとの小テストとともに、期末試験結果を総合して進級判定を行う。 体表解剖を中心に学び、経穴との関連を理解するための基礎知識を習得する。前期には主に上半身、後期には主に下半身の関節構造を中心に学ぶ。関節の特徴的な作用、また関節を作用させる筋肉学び、触診することができる知識を習得する。 神経や動脈などの走行を理解し、安全な鍼灸治療を行うための禁忌部位などについても理解を深める。										
【到達目標】										
A:肩関節の特徴や機能を理解し、各部分の名称や、骨・筋肉、組織などの構造と働きを理解することを目的とする。 B:肘関節の特徴や機能を理解し、各部分の名称や、骨・筋肉、組織などの構造と働きを理解することを目的とする。 C:手関節の特徴や機能を理解し、各部分の名称や、骨・筋肉、組織などの構造と働きを理解することを目的とする。										
【授業の注意点】										
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力					
到達目標A	肩関節～肩甲帯の構造と機能を正確に理解し疾患や病態理解に運用できる	肩関節～肩甲帯の構造と機能をほぼ理解している	肩関節～肩甲帯の構造と機能の仕組みを理解しているが完全に覚えきっていない	肩関節～肩甲帯の構造と機能を理解できない	用語の理解ができず、構造や機能を理解できない					
到達目標B	肘関節の構造と機能を正確に理解し疾患や病態理解に運用できる	肘関節の構造と機能をほぼ理解している	肘関節の構造と機能の仕組みを理解しているが完全に覚えきっていない	肘関節の構造と機能を理解できない	用語の理解ができず、構造や機能を理解できない					
到達目標C	手関節の構造と機能を正確に理解し疾患や病態理解に運用できる	手関節の構造と機能をほぼ理解している	手関節の構造と機能の仕組みを理解しているが完全に覚えきっていない	手関節の構造と機能を理解できない	用語の理解ができず、構造や機能を理解できない					
到達目標D										
到達目標E										
【教科書】										
東洋療法学校協会解剖学教科書／整形外科徒手検査法										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
期末試験で100％評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		からだのしくみ 1			年度	2024
英語表記		Body Mechanics 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション 総論肩関節①	授業の進行や必要な準備などの説明。 肩関節の序論	1 授業の準備		3	
			2 授業のルール			
			3 肩関節序論	肩関節肩甲帯の全体構造を理解する		
2	肩関節② 骨組織	肩関節帯の関節構造を理解する①	1 胸鎖関節	胸鎖関節の関節面・形状分類と働きを理解する	3	
			2 肩鎖関節	肩鎖関節の関節面・形状分類と働きを理解する		
3	肩関節③ 骨組織	肩関節帯の関節構造を理解する②	1 肩甲上腕関節	肩甲上腕鎖関節の関節面・形状分類と働きを理解する	3	
			2 肩甲胸郭関節	肩甲胸郭関節の関節面と働きを理解する		
			3 肩甲上腕リズム	肩甲上腕リズムの意義を理解する		
4	肩関節④ 軟部組織	肩周辺の筋肉① を理解する	1 ローテーターカフ	腱板を構成する4つの筋を理解する	3	
			2 大円筋	周囲の筋肉を学習し肩関節への作用を理解する		
			3 三角筋など			
5	肩関節⑤ 軟部組織②	肩周辺の筋肉② 総合まとめ	1 大胸筋	周囲の筋肉を学習し肩関節への作用を理解する	3	
			2 僧帽筋など			
			3			
6	肘関節①	肘関節の関節構造を理解する①	1 腕尺関節	腕尺関節の関節面と形状・働きを理解する	3	
			2 腕橈関節	腕橈関節の関節面と形状・働きを理解する		
			3 上橈腕尺関節	上橈尺関節の関節面と形状・働きを理解する		
7	肘関節② 軟部組織	肘関節周囲の筋肉①	1 肘関節屈筋	肘関節の屈筋群を理解する	3	
			2 肘関節伸筋	肘関節の伸筋群を理解する		
8	肘関節③ 軟部組織	肘窩の構造を理解する	1 肘窩	肘窩の構造と走行する組織を理解する	3	
			2 上腕の神経・動脈	上腕～前腕を走行する神経と動脈を理解する		
			3 総合まとめ			
9	手関節① 骨組織	手関節の関節構造を理解する①	1 橈骨手根関節	橈骨手根関節の関節面と形状・働きを理解する	3	
			2 手根間関節	手根骨間の関節と形状・働きを理解する		
			3 CM関節	中手骨と指節骨間の関節を理解する		
10	手関節② 骨組織	手関節の関節構造を理解する②	1 MP関節	手指の関節構造を理解する	3	
			2 PIP関節			
			3 DIP関節			
11	手関節③ 軟部組織	手関節周囲の筋肉①	1 前腕屈筋	手関節に作用する屈筋群を理解する	3	
			2 手根管の構造	手根間の構造を理解する		
			3 スナッフボックス	スナッフボックスの構造を理解する		
12	手関節④ 軟部組織	手関節周囲の筋肉②	1 前腕伸筋	手関節に作用する伸筋群を理解する	3	
			2 腱鞘の構造	腱鞘の構造、腱区画を理解する		
13	手関節⑤ 軟部組織	手の内在筋 神経障害と変形	1 手の筋肉	母指球筋・小指球筋・中手筋を理解する	3	
			2 手の変形	神経障害による手の変形とその機序を理解する		
			3 総合まとめ			
14	総合復習骨組織軟部組織	期末試験対策 前期復習	1 確認プリント	前期に行った内容を項目別にポイント整理して習熟度を確認する	3	
			2 まとめ学習			
15	期末試験解答解説	解答	1 試験の解答解説		3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	からだのしくみ 1							年度	2024
英語科目名	Body Mechanics 1							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大下 裕之	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】									
からだのしくみ 1 では神経の概要と中枢神経系、末梢神経系の基本的な構造と機能について学習する。今後学習する臨床系科目や実技系科目を履修するうえでそれらに関する知識は必要不可欠なため、それらに対応できるだけの基礎的な知識を得ることを目的とした科目である。									
【科目の概要】									
人のからだの構造や形態、そのしくみや機能などを基本から学びます。									
【到達目標】									
A. 神経系の概要が理解できるようになる。 B. 中枢神経についてその構造と機能が理解できるようになる。 C. 末梢神経について、その種類と構造そして機能が理解できるようになる。									
【授業の注意点】									
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力				
到達目標 A	神経の種類別の特徴と神経細胞の構造と働きについて理解し、その障害による影響を想像することができる。	神経の種類別の特徴と神経細胞の構造と働きについて完全に理解できている。	神経の種類別の特徴と神経細胞の構造と働きについてある程度理解できている。	教科書で確認すれば神経の種類別の特徴と神経細胞の構造と働きについて答えることができる。	教科書で確認しても神経の種類別の特徴と神経細胞の構造と働きについて答えることができない				
到達目標 B	中枢神経の構造と機能を完全に理解し、それが障害されたときの状況を想像することができる	中枢神経の構造と機能は完全に理解できている	中枢神経の構造と機能はある程度理解できている	教科書で確認すれば中枢神経の構造と機能を答えることができる	教科書で確認しても中枢神経の構造や機能を答えることができない				
到達目標 C	末梢神経の構造と機能を完全に理解し、それが障害されたときの状況を想像することができる	末梢神経の構造と機能は完全に理解できている	末梢神経の構造と機能はある程度理解できている	教科書で確認すれば末梢神経の構造と機能を答えることができる	教科書で確認しても末梢神経の構造や機能を答えることができない				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									
解剖学（医歯薬出版社）									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
中間試験・期末試験で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		からだのしくみ 1			年度	2024
英語表記		Body Mechanics 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	神経の概要	神経系の分類を理解する	1 中枢神経の分類	中枢神経を分類できる	3	
			2 末梢神経の分類	末梢神経を分類しその特徴が理解している		
2		神経組織の構造を理解する	1 神経細胞	ニューロンについて理解できる	3	
			2 グリア細胞	グリア細胞について理解できる		
			3 神経線維	有髄神経と無髄神経について理解できる		
3			1 シナプス	シナプスの構造と伝達が理解できる	3	
			2 神経線維の特徴	神経線維の種類と特徴が理解できる		
4	中枢神経の周囲環境	髄膜と脳室について理解する	1 髄膜	髄膜の構造が理解できる	3	
		2 脳室	脳室の構造が理解できる			
		3 脳脊髄液	脳脊髄液の循環が理解できる			
5	中枢神経	大脳の構造と機能を理解する	1 大脳の概要	大脳皮質・髄質・基底核の違いが理解できる	3	
			2 大脳皮質の構造	大脳溝と各領域（脳葉）が理解できる		
6			1 大脳皮質の機能局在	大脳皮質の機能局在が理解できる	3	
			2 言語中枢	言語中枢と失語症が理解できる		
7			1 連合野	連合野の機能が理解できる	3	
			2 大脳髄質	大脳髄質の構造が理解できる		
			3 大脳基底核	大脳基底核の構造と機能が理解できる		
8		脳幹の機能を理解する	1 中脳	中脳の機能が理解できる	3	
			2 橋	橋の機能が理解できる		
			3 延髄	延髄の機能が理解できる		
9		間脳と小脳の機能を理解する	1 間脳	間脳の構造と機能が理解できる	3	
			2 小脳	小脳の機能が理解できる		
10		脊髄の構造と機能を理解する	1 脊髄の概要	脊髄の概要が理解できる	3	
			2 脊髄灰白質	灰白質の構造が理解できる		
			3 脊髄白質	白質の構造が理解できる		
11	末梢神経	脳神経の種類と機能を理解する	1 脳神経の名称	脳神経の名称を答えることが出来る	3	
			2 脳神経核の部位	各脳神経の神経核部位が理解できる		
12			1 脳神経と眼との関係	脳神経と眼との関係が理解できる	3	
			2 顔面の感覚と運動	顔面の感覚・運動と脳神経との関係が理解できる		
13			1 舌と脳神経の関係	舌と脳神経との関係が理解できる	3	
			2 唾液腺と脳神経の関係	唾液腺と脳神経との関係が理解できる		
14		脊髄神経の構造を理解する	1 脊髄神経の基本構造	脊髄神経の構造が理解できる	3	
15	1 神経叢		神経叢の構成と分布領域が理解できる	3		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等